

加茂町の環境課題は



みやもと 宏樹
(50分)
公明党



問

①PFOSおよびPFOAの排出源の特定と低減に向けての取り組みは。

②異臭の発生源特定は。

答

①周辺の飲用井戸水などで暫定目標値の超過がなく、現時点では排出源特定のための調査は必要ないとの国の見解を得ている。

低減対策は、国において技術の確立に向けた取り組みが行われており、その動向を注視していく。

②臭気調査の範囲や時間を拡大し新たに風向、風速の測定を実施した。学識経験者との協議では発生源の特定まではできないものの、エリアは推定できるとの意見をいただいた。これを受け、その周辺の事業者に対してヒアリングを実施し、自主的に臭気の低減対策を行っていることを確認した。



視覚障がい者支援施策は



のむら しずえ
野村志津江
(60分)
公明党



問

同行援護の現状と課題は。

答

同行援護は誘導技術などの専門性に加え利用者との信頼関係が求められており、現在約100人が利用している。課題はヘルパーが確保できず、急



放課後児童クラブの運営は

問

デジタル技術の活用について現在の検討状況は。

答

現在、出欠確認や保護者連絡などの業務に対応した入退室等管理システムを導入している中核市と県内市町に対して調査を行い費用対効果を検証している。

ばらのまち福山国際音楽祭は



さがくぼ みき
皿谷久美子
(65分)
公明党



問

若年層や子育て世代、障がい児者などへのアプローチは。

答

ママあのおねコンサートと手をつなごうコンサートの2つをみんなのコンサートに変え、次年度も公演数を増やす。また有識者と地元の若手演奏家を実行委員会に加えて議論し、次年度からは40歳

観光行政は



さく まひろのり
佐久間裕徳
(50分)
公明党



問

観光ボランティアの状況や課題は。

答

現在、鞆の浦や福山城をはじめ新市町、神辺町、沼隈町エリアなどで300人を超えるボランティアガイドが活躍してくれている。活動を担う人材の確保と育成が課題と考えている。

地域イベントへの支援と情報発信は

問

地元で文化、芸術などに携わる個人や団体のリストがあれば便利だと考えるが。

答

地元の若手芸術家などの育成、支援にもつながる側面もあることから、他都市の事例を調査するなど検討していく。
*その他、道路行政などについて質問しました。

防災行政は

問

南海トラフ地震の被害想定は。

答

今回の被害想定において、津波到達時間の延長などにより死者数や避難者数は減少したが、地震発生後の速やかな避難が何より重要となる。また避難生活の長期化が予想され、備蓄の重要性はこれまでより高まると考えている。

新たに機能的で大型の防災備蓄拠点の整備と災害備蓄品の一層の充実を検討していく。